

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組み】

都留信用組合

項 目		2. 経営力の強化 (1) リスク管理態勢の充実
現状の分析及び評価		平成16年7月から、貸出金の信用リスクを適時(月次)に把握できるように「月次自己査定システム」を稼働させましたが、現状ではまだ債務者区分判定時期が1・2月に集中する傾向があります。 債券運用については、適切なリスクテイクを行うための市場リスク計測の精度が不十分であると認識しております。
計画 (目標設定を含む)	取組方針及び目標	正確な自己査定、信用リスクの月次把握、自己査定作業の平準化を目指して、「月次自己査定システム」の浸透化を図ってまいります。 収益確保への対応として、市場リスク管理態勢を強化いたします。
	具体的取組策	臨店により、営業部店担当者・役席の個別指導を実施すると共に、説明会の実施により営業店役席・一般職員への浸透化を図ります。また、併せて財務分析等の勉強会を開催いたします。 自己査定と開示項目数値の月次把握(5.6.7.8.10.11月末)と役員への報告を行います。 市場リスク管理手法として「VaR」(ヴァリューアットリスク)を採用いたします。
実施スケジュール	17年度上期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期と下期に全営業部店を1回以上臨店し、個別指導により「月次自己査定システム」の浸透化を図ります。</li> <li>・上期と下期に実施される自己査定説明会で「月次自己査定システム」の浸透化を図ります。</li> <li>・財務分析等の勉強会を開催いたします。</li> <li>・自己査定と開示項目数値の月次把握と役員報告をシステム化いたします。</li> </ul>
	下期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下期より下記項目について準備を開始いたします。 SKC新ALMシステム導入検討 同システム導入研修への参加</li> </ul>
	18年度上期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期と下期に全営業部店を1回以上臨店し、個別指導により「月次自己査定システム」の浸透化を図ります。</li> </ul>
	下期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期よりSKC新ALMシステムの運用を開始いたします</li> <li>・上期と下期に実施される自己査定説明会で「月次自己査定システム」の浸透化を図ります。</li> <li>・財務分析等の勉強会を開催いたします。</li> </ul>
	(参考) 19年度以降	
		自己査定担当部長以下担当部全体で推進いたします。

<p>推進態勢</p>	<p>勉強会については、外部の専門家に依頼いたします。</p> <p>推進統括部署 『経営企画部』          関連部署 『融資部』『経理証券部』          推進責任者 経営企画部長          責任者補佐 経営企画部副部長</p>  <pre> graph TD     A[経営企画部] --- B[融資部]     A --- C[経理証券部]         </pre>
<p>備考</p>	